

## 現状と課題について

### 全国学力・学習状況調査（令和5年4月18日（火）実施）から

- 中学校3年は、国語・数学・英語とも全国平均を下回った。国語は「読むこと」、数学は「データの活用」、英語は「書くこと」の正答率が低かった。また、数学・英語ともに無回答率も高い。
- 小学校6年は、国語は全国平均をやや上回った。算数は全国平均をやや下回り、特に三角形の面積を求める問題や割合に関する問題で正答率が低かった。
- 児童・生徒質問紙の調査では、計画を立てて毎日家庭学習をする生徒の割合は多いものの、2時間以上勉強する児童生徒の割合が全国平均（小：15.3（25.6）中：20.0（33.7））より低い。

### ICTを活用した授業

- 普通教室を中心に電子黒板の設置が進み、タブレット端末と組み合わせた授業も進んでいる。

### 読書習慣について

- 学年が上がるにつれて読書に関心が薄くなりつつあり、発達に応じた本を読まない、また不読率が上昇している。

## 課題への対応について

### 教員の授業力改善に向けて

- 各学校において、学力調査の結果分析や対策についてまとめ、2学期以降の授業に反映させている。その都度、指導主事による授業参観等を行い、学校の課題に応じた指導助言を行っている。
- 外部人材の活用として、数学科において、「学力向上支援アドバイザー」が市内中学校3校で授業者の支援を行っている。
- 小学校の算数科では、研究授業において、県の事業である「算数・数学授業づくり支援事業」を活用している。
- 外国語科・英語科の授業において、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の一環として、本宮まゆみ小・本宮一中の研究授業において、市内の外国語担当教員を参加させ、情報共有や指導力向上に向けてのグループ協議を行った。

### 読解力の向上に向けて

- 白沢中学校区にて、新聞社（福島民報社、福島民友社）が主催する出前授業（記事の読み取り、見出し作成など）を行っている。
- 「『家族読書』オススメ図書100選」を各学校に配付し、発達段階に合わせた読書活動ができるよう活用している。
- 読書に関する必要な情報（家庭環境や学力との関連など）について広く周知する場を設定する。

### ICTの効果的な活用について

- AIドリルの活用法について校内研修を行い、授業や家庭学習での活用率を上げている。
- AIドリルを長期休業中や家庭学習の課題に取り入れる。
- 各学校の授業において効果的な取組を指導主事が情報をホームページ等で発信する。また南達方部学校教育指導員が実践事例を冊子にして発行する。

## 現状について

### 「すまいる・るーむ」移動の経過

- 開設当初は、中央公民館 2階会議室に開設した。
- 令和元年東日本台風災害により中央公民館が使用不能となったため、総合体育館 2階会議室で開設することになった。

### 開設場所移動検討の必要

- コロナ禍が去り、体育館の利用が増えてくる中で、体育館利用者から「会議室が使えなくて困る」との声が寄せられている。

### 「すまいる・るーむ」の利用状況

- 令和5年度 登録人数 24人  
通所人数 20人  
指導員 4人

## 課題について

### 新たな開設場所検討の必要性

#### 開設場所の候補

- 中央公民館
    - ・当初開設していたが、通所児童が多くなったことにより、手狭なため戻るのは難しい。
  - 第2児童館
    - ・老朽化しており、トイレも男女共同となっているなど、大規模改修が必要になる。
  - あぶくま憩の家（2階和室）
    - ・（メリット）十分な広さがある。  
運動できるスペースがある。  
周囲を散策できる。
    - ・（デメリット）冷暖房設備がないため設置と断熱工事が必要である。
- ※ 年に数回程度利用があるため、利用団体との調整が必要（1団体1～2回利用）



総合体育館会議室

## 現状について

- 令和4年6月にスポーツ庁で提言された、公立中学校における休日の運動部の部活動を外部に移行する部活動改革を受けて、国・県では令和5年度から3年間で「改革推進期間」とし、本市も実情に応じて取組を進めている。
- 当初、市内のスポーツ少年団を受け皿として、中学生を受け入れて運営していくことを計画していたが、7月の各団体への意向調査を受け、令和6年度から「土日等の休日の中学校の部活動は、部活動指導員を含む地域指導者による指導を目指していく」こととなった。
- 令和5年10月17日に教育委員会定例会、11月8日に市小中学校PTA会長・校長・CS会長・教育委員会意見交換会を実施し、方向性を示した。
- 今後、各学校は適宜PTA本部と協議を重ね情報共有し、児童・生徒、保護者等への周知と指導者確保を図っていく。

## 課題について

- 1 受け皿となる地域団体、指導者の確保
    - ・ 市が部活動指導員（会計年度任用職員）として雇用するが、各学校で指導員を探していただき、見つかるまでの間は教員が指導にあたる。各学校で適当な指導者が見つからない場合、学校または市教委が地域団体に依頼し確保に努める。
  - 2 活動場所の確保（学校、公共施設）と生徒の移動手段（学校の場合、鍵の管理等）
    - ・ 活動場所については、基本的には各学校の施設の利用を検討中。生徒の移動手段も学校部活動と同様に行うことができる。
  - 3 土日に行われる各種大会の参加（引率は誰がするのか、多くの場合教員が務めてきた大会の審判や運営は誰が行うのか。）
    - ・ 徐々に生徒の引率や大会の審判や運営も外部指導者へと移行していくが、まずは部活動顧問教員と連携していく。
  - 4 費用負担等の在り方（外部指導者への報酬や活動場所への移動の送迎等を誰の負担とするか。）
    - ・ 地域指導者への報酬は、福島県公立中学校部活動指導員配置促進事業に準拠することを検討中。（1,600円×1日3時間×上限50日）
  - 5 その他
    - ・ 地域指導者による指導の過熱化（勝利至上主義）
    - ・ 平日の活動との連携
    - ・ 部活動指導者の質の確保
    - ・ 保険の取扱い
    - ・ 事故等の責任の所在 等
- 今後、市では地域指導員に対して、「本宮市立中学校部活動指導員設置要綱」の周知徹底と教員と地域指導者の両者による指導を実施し、丁寧に確認や引継ぎをすることが必要であると考えます。

## 現状について

### 合併時の協議

- 「学校給食の実施については、現行の通り新市に引き継ぐものとし、新市において調整する」とされた。

### 自校給食の状況

- 12人の給食調理員が調理を行っている。休暇時の代行をシルバー人材センターに委託している。
- 調理員複数名が同時に休暇を取得の際、通常の給食が提供できなかった事例がある。（コロナ感染、ケガ等の理由による）
- 基本の献立は白沢中の栄養技師が作成し、小学校の養護教諭が食材の発注等の管理を行っている。
- 白沢中の栄養技師が各小学校を訪問し調理指導、衛生指導等を行っている。（各小学校年6回）
- 自校給食の米飯のみ給食センターで調理している。

学校名	調理食数	調理員
糠沢小学校	131食	3人
和田小学校	81食	2人
白岩小学校	144食	3人
白沢中学校	204食	4人（うち1名は代行要員）
計	560食	12人

### 本宮方部学校給食センターについて（令和5年5月1日現在）

- 構造：鉄骨造2階建
- 竣工：平成10年2月27日（平成10年4月16日給食開始）
- 調理能力：1日5,000食（実給食数3,086食、米飯給食数（自校給食分）560食）
- 職員数：29人（所長1、栄養教諭1、栄養技師1、調理員5、パート15、ボイラー技士1、事務職員1、委託運転手4）

## 課題について

### 自校給食の課題

- 自校給食の調理員の確保が難しくなっている。特に代行員の確保が難しく、令和3年度より代行員分として調理員1名を増員（白沢中配置）した。合わせて、シルバー人材センターに代行員1名を委託している。
- 1施設当たりの調理員の人数が少ないため、急な休みが取りにくい。複数人の病休等（コロナ、ケガ等）があると、給食が提供できなくなる。
- 各小学校には栄養教諭又は栄養技師の配置がないため、食中毒の発生など調理室の衛生管理に不安がある。

### 給食センターに1本化することによるメリット・デメリット

- メリット
  - ・ 調理員の数削減できるため、人件費が節減される。
  - ・ 調理員の人数が多いため、休暇を取りやすくなる。（カバーすることが出来る）
  - ・ 市内すべての小中学校で、同じメニューの給食が提供できる。
  - ・ 衛生管理が向上する。
- デメリット
  - ・ 給食センターに1本化するためには、施設の改修等が必要になる。
    - 白沢地区4小中学校それぞれに、給食配送トラックを受け入れるプラットホームの整備
    - 給食センターの配送用コンテナの整備
    - 給食配送用トラックの確保
  - ・ 出来立ての給食が食べられなくなる。

### その他

- 自校給食調理業務委託の可能性（保育所と同様に）

## 現状について

### 白沢地区幼稚園の現状

- 白沢地区の幼稚園児数が年々減少している。
- 和田幼稚園の令和6年度の新入園児は、現在のところ2名。4歳児と5歳児の合同保育を行う予定である。
- 預かり保育が1日1名となる日がある。
- 保護者から、幼稚園での給食提供の要望がある。幼稚園には給食がないことから保育所を希望する保護者がいる。  
(市内全域の幼稚園)

### 【白沢地区幼稚園 園児数の推移】

(単位：人)

	糠沢幼稚園			和田幼稚園			白岩幼稚園			計		
	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計
平成30年度	23	14	37	21	11	32	17	20	37	61	45	106
令和元年度	17	24	41	6	21	27	20	18	38	43	63	106
令和2年度	12	18	30	10	6	16	17	19	36	39	43	82
令和3年度	17	12	29	7	10	17	19	18	37	43	40	83
令和4年度	9	18	27	9	7	16	18	18	36	36	43	79
令和5年度	7	10	17	11	9	20	18	19	37	36	38	74
令和6年度(予定)	9	7	16	2	11	13	15	18	33	26	36	62
令和7年度(推計)	11	9	20	8	2	10	11	15	26	30	26	56
令和8年度(推計)	9	11	20	7	8	15	12	11	23	28	30	58
令和9年度(推計)	12	9	21	8	7	15	15	12	27	35	28	63

## 現状について

### 糠沢幼稚園

建築年	昭和60年度
構造	鉄骨造
面積	468㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	37年
敷地	1,493㎡
間取り	保育室4部屋、遊戯室、事務室
備考	令和4年度 職員トイレ改修工事 令和5年度 照明LED改修工事



### 和田幼稚園

建築年	昭和59年度
構造	鉄骨造
面積	355㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	38年
敷地	3,077㎡
間取り	保育室2部屋、遊戯室、事務室
備考	令和4年度 職員トイレ改修工事 令和5年度 照明LED改修工事



### 白岩幼稚園

建築年	昭和59年度
構造	鉄骨造
面積	555㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	38年
敷地	4,975㎡
間取り	保育室4部屋、遊戯室、事務室
備考	令和4年度 送迎用駐車場アスファルト舗装工事 令和5年度 照明LED改修工事



### 白沢保育所

建築年	平成10年度
構造	鉄骨造
面積	639㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	24年
敷地	2,598㎡
間取り	保育室4部屋、遊戯室、調理室、事務室
備考	令和5年度 照明LED改修工事



## 課題について

### 園児数の減少

- 園児数の減少により、クラス編成が出来なくなってしまう。
- 少ない人数だと望ましい集団活動ができない。活動の幅が狭められる。

### 施設の老朽化

- 各幼稚園とも建設から40年近くが経過し、長寿命化計画による大規模改修により多額の費用が必要になる。

## 現状について

### 4月1日現在は待機児童ゼロでスタート

- 令和5年4月1日のスタート時点では、公立私立合わせて609人の入所児童を迎え、待機児童は0人。

### 待機児童の発生

- 出生後6か月経過した方、育児休業期間が満了する方の新規の申し込みにより、待機児童が発生。（10月1日時点で16人）
- 令和5年度より、育児休業取得時の継続入所を可能としたことから、年度途中の退所者が減少。
- 待機児童には含めていないが、保育所入所を希望している潜在的な待機者がいる。

### 保育士確保の取り組み

- 人材派遣会社との契約による保育士の確保。（11月24日時点で7人）
- 令和4年2月より、会計年度任用職員の処遇改善として最大月9,000円の加算
- ハローワークや広報もとみや、SNSなどによる保育士募集を行っている。10月には全戸にチラシを配布。

## 課題について

### 保育士の不足による課題

- 十分な数の保育士が確保できず、定員まで預かることが出来ない。  
※保育士確保により、0歳児24人、1歳児12人、2歳児18人、3歳児20人を預かることが可能
- 国が創設を目指している「子ども誰でも通園制度」は、保育士不足により待機児童が出ている中では、対応するのは難しい状況である。

### 支援を要する児童の増加

- 支援を必要とする児童が増えており、多くの支援員の配置が必要。

### 短時間勤務希望保育士の増加、長時間労働

- 子育て中の保育士は、9時～16時までの勤務を希望するケースが多く、シフトに入れなことから、正職員や会計年度任用職員（フルタイム）の負担が大きくなっている。
- 延長保育に対応するための朝早い時間、夕方遅い時間まで勤務できる保育士の確保が難しい。

### 国の保育士配置基準の見直し

- 国において保育士の配置基準の見直しが行われれば、より多くの保育士が必要となる可能性がある。

## 現状について

### 未就学児医療的ケア児の状況（令和5年11月1日現在）

年齢	性別	現在の保育状況	ケアの内容	備考
6歳児	男	まゆみ保育所	吸入・ネプライザー	自宅でのケアのみ
1歳児	男	自宅保育	人工呼吸器	保育所入所の意向あり
1歳児	女	自宅保育	酸素療法・経管栄養	

### 看護師の不在

- 医療的ケア児を預かるためには、看護師の配置が必要であるが、現時点で配置はない。

### 受入の基準が明確にされていない

## 課題について

### 看護師の確保等

- 医療的ケア児を受入するには看護師の確保、あるいは訪問介護の手配が必要になる。
- 支援員の確保や安心できる保育スペースの確保が必要になる。

### 受入ガイドラインの策定

- 受入の条件などのガイドラインを策定する必要がある。
  - ・受け入れの条件（市内在住、集団保育が可能、医療的ケアが確立され家庭で日常的に行われている 等）
  - ・実施する医療的ケアの内容（喀痰吸引、経管栄養、導尿、インスリン注射、酸素管理 等）
  - ・対象児童（何歳から）
  - ・受け入れ体制（預かり施設、時間 等） 等

## 現状について

### 令和5年度 「未来へつなげる もとみや英国訪問団2023」を4年ぶりに実施

- 高松市長を団長、遠藤教育委員を副団長とし市内中学生15名による訪問団を英国へ派遣した。
- ケンジントン&チェルシー王立区では親善交流の場に立ち合い、在英国日本国大使館では林肇大使の講話を聴く貴重な体験をした。
- ダヴェナント・ファウンデーションでは互いの文化を体験し関係を深めることができた。
- 4年ぶりの訪問はそれまでの英国訪問が現在につながり、交流が深まっていることを感じる事ができた。

### 「未来へつなげる もとみや英国訪問団OB会」を実施

- 過去3回実施した訪問団に参加者と今年参加した生徒、18名の参加を得て実施した。
- 中学生は先輩との懇談を通じて渡英の成果をどのように活かしていくか考えを深めることができた。

## 課題について

### 英国訪問事業の成果の共有

- 教育委員、監査委員から「参加できた中学生だけではなく、より広く英国との交流のメリットが市民に感じられるようにしてほしい。」との意見がある。
- 英国交流によって、中学生の英国訪問団参加をはじめとして、英国庭園の整備、英国関連の生涯学習講座の開催、など様々な事業を展開している。本宮市は地理的な有利性から、企業進出やベッドタウンとして発展してきた。新たに、「英国交流・国際交流」を推進することで、市の特性がより明確になり、子どもの国際教育や市の文化振興等を進めている。英国交流は市の一体感を育む主要キーワードとして、様々な事業を今後も展開し、国際交流都市の意識醸成を図っていく。
- 令和5年度に参加した中学生は、在籍する中学校においてクラス、学年、全校、各集会において渡英の様子を発表し、共有を図った。
- 英国訪問団OB会のネットワークを広げ、先輩が後輩へアドバイスできるような環境を進める。

### 「市民や地域がグローバル感覚に優れ、国内外に開かれた可能性の広がるまち」へ向けた取り組み

- より多くの生徒が応募してくれるような外国文化、外国語教育の環境づくり。年齢に合わせた国際交流事業に取り組む。
- 英国訪問に参加した中学生が成長とともに英国交流事業へ協力してくれるような環境づくり。
- 中高生が海外へ羽ばたける環境づくり。
- 成長して大人になっても英国交流事業と関わるような環境づくり。

## 現状について

- (1)本宮市文化団体連絡協議会においては、設立当初102団体の加盟団体があった。
- (2)その後、毎年入会、退会はあったものの、100団体前後で推移してきた。
- (3)平成29年度の96団体から、現在までに急激に加盟団体が減少し、令和5年4月の総会時は60団体となったが、新規加入8団体もあり、現在は68団体である。
- (4)生涯学習講座を実施する中で、サポートしながらサークル活動につなげている(フラダンス、昔ばなし、茶道など)

## 課題について

- (1)加盟団体の活動者の高齢化が進んでいる。
- (2)コロナ禍による活動自粛により活動を停止し、退会した団体がある。
- (3)指導者がいる団体では、高齢化などにより指導者が不在となり、活動を停止せざるをえない団体がある。
- (4)公民館活動については本宮市に限らず、若い世代の活動者が少ない。
- (5)加盟団体の活動をPRする機会がない。

## 文団連加盟団体の推移について

総会	年度	団体数	入会		退会		現計	
			本宮	白沢	本宮	白沢	本宮	白沢
設立	平成18年度	102						
第1回	平成19年度	99			1	2	52	47
第2回	平成20年度	103	6	1		1	57	46
第3回	平成21年度	105	2	1	1		59	46
第4回	平成22年度	105		1	1	2	58	47
第5回	平成23年度	103	1		5	1	58	45
第6回	平成24年度	99	1	1	1		54	45
第7回	平成25年度	104	3	3	3	2	56	46
第8回	平成26年度	99			4	2	53	46
第9回	平成27年度	95	1	1	1	2	50	45
第10回	平成28年度	96	3	1	1	1	52	44
第11回	平成29年度	96	2		7	7	53	43
第12回	平成30年度	82			2	2	46	36
第13回	令和1年度	79		1	4	1	44	35
第14回	令和2年度	74			2	2	40	35
第15回	令和3年度	70			3	2	38	32
第16回	令和4年度	65			4	1	35	30
第17回	令和5年度	60					31	29
総会后、現在数		68	6	2			37	31

## 本宮市文化団体連絡協議会名簿

令和5年10月20日現在

## 本宮市

## 【芸術文化・生活芸術部門】

- |    |          |    |           |
|----|----------|----|-----------|
| 1  | フォト無限    | 2  | 芳鶴書道會     |
| 3  | 本宮雅伸会    | 4  | 本宮美術協会    |
| 5  | 将棋クラブ    | 6  | 本宮囲碁クラブ   |
| 7  | 池坊晴華サークル | 8  | 本宮盆栽クラブ   |
| 9  | 裏千家野内社中  | 10 | 池坊堅香子くらぶ  |
| 11 | 本宮中国サロン  | 12 | 表千家横山社中   |
| 13 | 主千家大内社中  | 14 | 表千家渡辺宗咲社中 |
| 15 | 椽ふくしま俳句会 | 16 | 表千家國分社中   |

## 【音楽芸能部門】

- |    |              |    |            |
|----|--------------|----|------------|
| 17 | 安達太良太鼓保存会    | 18 | 荒井の太々神楽保存会 |
| 19 | なでしこ琴の会      | 20 | 三絃正雪会      |
| 21 | 箏曲生田流まゆみの会   | 22 | 田川流藤乃会     |
| 23 | 本宮吟剣詩舞の会     | 24 | 本宮歌謡音楽愛好会  |
| 25 | フラマヒナヒナ      | 26 | フラハウオリ     |
| 27 | リリアフラ本宮      | 28 | わかば舞踊界     |
| 29 | レクダンス・コスモス   | 30 | 紅梅流美扇会     |
| 31 | レイメリアホアピリ    | 32 | 田川流菊乃会     |
| 33 | レイマカニ フラ オハナ | 34 | フラモアナ      |
| 35 | 民謡・三味線菊の会    | 36 | やまびこ会      |
| 37 | マカナプア        |    |            |

## 支部登録

## 【民俗芸能部会】

- |   |             |   |               |
|---|-------------|---|---------------|
| 1 | 和田神社太々神楽保存会 | 2 | 浮島神社太々神楽保存会   |
| 3 | 春日神社太々神楽保存会 | 4 | 鹿島神社太々神楽保存会   |
| 5 | 八ツ田内七福神舞    | 6 | 長屋諏訪神社太々神楽保存会 |
| 7 | 稲沢御田植踊保存会   | 8 | 長屋神社太々神楽保存会   |
| 9 | 高松神社太々神楽保存会 |   |               |

## 【芸能音楽部会】

- |    |             |    |                  |
|----|-------------|----|------------------|
| 10 | 高松山権現太鼓会    | 11 | 白沢三絃会            |
| 12 | やまゆり民謡会     | 13 | 白沢詩吟クラブ          |
| 14 | 糠沢舞踊会       | 15 | 寿舞踊会             |
| 16 | 紅梅流和華三会     | 17 | 三井流歌央美充会         |
| 18 | 田川流手まり会     | 19 | フラプルメリアしらさわ      |
| 20 | リリアフラ・ワイオリ  | 21 | コーラス・しらさわ        |
| 22 | さわやかカラオケ愛好会 | 23 | ミュージックサウンド・ライヴワン |
| 24 | まゆみカラオケクラブ  |    |                  |

## 【文芸美術部会】

- |    |            |    |                 |
|----|------------|----|-----------------|
| 25 | 白沢絵画愛好会    | 26 | 光が丘書道会          |
| 27 | しらさわ陶芸サークル | 28 | しらさわキルトフラワーバスケッ |
| 29 | 川柳しらさわ吟社   | 30 | 本宮篆刻会           |
| 31 | 菅野茶道教室     |    |                 |

## 現状について

令和5年度総合教育会議において資料館の耐震調査を行い費用の面も考えて今後の活用方針を検討していく方針としてまとめられた。

歴史的建造物の耐震補強方法について実績のある業者を選定し耐震調査・耐震設計を委託。歴史民俗資料館及び分館・プレハブに収蔵してあった資料を本宮市歴史文化収蔵館に移設作業中。

資料移設後、分館・プレハブ2棟の解体撤去工事を実施。

## 課題について

- ・ 歴史民俗資料館本館の追加耐震診断及び耐震実施設計の結果が示されることにより、建物の保存方法、利用方法について具体的な検討に入ることができる。
- ・ 歴史的な価値としては、大正期に本宮で建設された鉄筋コンクリート造りのものは、歴史民俗資料館と旧福島銀行本宮支店など小数で、中でも西洋風に作られたのは資料館のみ。

また、当時本宮地方に電気を供給した先駆けである本宮電燈株式会社の本社であったなど本宮の発展の歴史に刻まれる建物である。

外観も赤レンガと白塗りの壁とのコントラストが美しく、建物正面は曲線を用いた柔らかさを持ち、日本宮市街の名残を残している象徴的な景観が観られる。

- ・ 今後の活用法に関しては、建物の景観や近代の本宮を形作ってきた場として、その性質を生かせるものとしたい。